

企画展示 館内では、当財団の研究活動の紹介や、テーマごとに蔵書を紹介する企画展示を行っています。ご来館いただいた際には是非ご覧ください。

ライブラリープラザ 1F

■ 錦秋の石川 ～がんばろう能登～ (期間：2024年10月～12月)

石川県は、本州の中央に位置し、日本海最大の半島でもある能登地方と県南の金沢(加賀)地方から成り立ち、独自の歴史・文化圏を有しています。キリコ祭りや御陣乗太鼓、輪島塗や加賀友禅、金箔、九谷焼、山中漆器など、数多くの地域ごとの特徴ある伝統文化が存在します。また南には白山国立公園を有し、里山と里海による豊かな食材、温泉など、自然と文化が調和した多くの観光資源に恵まれています。北陸新幹線は平成27年に金沢まで開通した後、令和6年3月には福井県・敦賀まで延伸し、東京から2時間25分、



大阪からは2時間5分で結ばれるようになりました。今回の能登地方の震災被害は甚大でしたが、復興・復旧も日々進んでいます。石川県観光公式サイト「ほっと石川旅ねっと」では「今

協力：公益社団法人 石川県観光連盟 / ほっと石川ねっと <https://www.hot-ishikawa.jp/>

エントランスギャラリー 1F

■ 誰もが旅行を楽しめるためのツーリズムのあり方についての研究 (期間：2024年9月～12月)

誰もが楽しめる旅行については、これまでではバリアフリーツーリズムやユニバーサルツーリズムとして取り組まれてきましたが、身体障害者や高齢者が主な対象でした。当財団では対象をより拡大するために、2021年度から慢性疾患、特に「がん患者を対象に新たなツーリズムのあり方」について研究してきました。今回は研究結果の一部を紹介します。



Information

〈当財団新刊のご案内〉

観光文化 262号 (2024年8月発行)

MICE再考 ～非観光需要の戦略的価値～

我が国においては、MICEという言葉は移入されているものの、地域振興の手段として体系的、戦略的な運用とはなっていない傾向にある。そこで、改めてMICEという非観光需要の戦略的価値について検討を行う。



今後の発刊予定

『旅行年報 2024』
(2024年10月末発刊予定)



『観光文化 263号』
不確実な時代に求められる観光研究の役割
(2024年11月発刊予定)

港区の専門図書館紹介

「旅の図書館」がある東京都港区には様々な特色を持つ魅力的な専門図書館が数多くあります。当コーナーではそれらの図書館をシリーズで紹介していきます。

気象庁図書館

気象庁図書館は、気象等の地球科学に関する専門図書館です。気象学、気候学(地球環境)、地震学、火山学、海洋学、数学、物理学など気象業務に関連した図書資料を中心に収集しています。気象庁の前身である東京気象台が創立された明治初期からの図書資料も所蔵しており、関東大震災等による焼失を免れた数多くの気象庁刊行物、天気図もあります。所蔵する図書資料

は約12万冊です。気象庁は、令和2年11月に千代田区大手町から現在の港区虎ノ門に移転しました。

図書館の場所は気象庁本庁舎内3階にあり、1階には港区立みなと科学館、2階には気象科学館があります。気象庁図書館は国立国会図書館の支部図書館を兼ねており、調査・研究を目的とされる一般の皆様にもご利用いただけます。一般の利用者は、専用端末にて蔵書検索・閲覧(閉架式)が行えます(貸出は出来ません)。



- 所在地：東京都港区虎ノ門3-6-9 3F
- 開館時間：午前10時～12時、午後1時～4時
- 休館日：土・日・祝・年末年始(12月29日～1月3日)・毎月第3水曜日・その他臨時休館あり
- https://www.jma.go.jp/jma/kishou/intro/tosho_index.html

たびとしよ

— 旅の図書館 News Letter —



Vol. 29

2024年10月号



「旅の図書館」TOPICS

当館の直近の様子をトピックスとしてお伝えします。

観光財源セミナー2024を開催しました

宿泊税をはじめとする観光財源の導入や活用手法を考え、自立した観光地域づくりの支援を行うために設置している「観光財源研究会」の活動の一環として、8月21日に「観光財源セミナー2024」を開催しました。

昨今は各地で「宿泊税」に対する注目が高まり、「どう導入するか」「どう活用するか」というフェイズに移りつつあることから、観光財源導入後の「使途」を中心に取り上げました。全国の自治体及びDMO等から多数ご参加頂き盛況裏に閉会しました。



第19回 自然公園研究会を開催しました

9月20日に当財団ライブラリーホールにて第19回自然公園研究会を開催しました。今回のテーマは、「利用像のあり方の変遷を通じて国立公園の歴史を探る」で、東京工業大学環境・社会理工学院 助教 津々見崇氏、環境省自然環境局自然環境計画課長 番匠克二氏、東京大学大学院 農学生命科学研究科附属演習林 助教 水内佑輔氏のご講演をはじめ、東京農工大学 名誉教授 土屋俊幸氏にコーディネートいただいたディスカッションなど盛況のうちに閉会となりました。



～多くの大学生の皆様が来館されました～

武蔵野大学

武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科 岩崎比奈子ゼミナールの学生皆さん(23名)が来館し、図書館の見学、蔵書閲覧の他、会議室にて学外ゼミに参加されました。その後当財団研究員より、財団自主事業についてご案内いたしました。今後も観光研究部と連携し、学生の皆様との接点を広げる取組みを進めていく予定です。



國學院大学

7月下旬に國學院大学観光まちづくり学部 梅川智也ゼミナールの3年生12名が来館されました。今回は旅行・観光・観光地に関する研究(主に卒業研究)を行うにあたり、関連する資料・図書・データ等を豊富に所蔵する「旅の図書館」の概要や利用の仕方等を理解し、実際に活用する準備を行うことを目的として、ディスカッションなども行いながら図書館を活用いただきました。



皇學館大学

三重県より皇學館大学文学部国文学科 岡野裕之ゼミナールの皆さんが9月上旬に旅の図書館に来館されました。当日は、国立国会図書館を視察後に当図書館まで訪問されました。観光文化に特化した専門図書館ですが、独自分類などに関心を示されていました。各地の大学の皆様にも是非ご利用いただきたいと考えています。



跡見学園女子大学

9月上旬に跡見学園女子大学観光コミュニティ学部の守屋邦彦ゼミナールの皆様が来館されました。図書館見学の他、翌週の新潟県胎内市へのゼミ訪問の事前学習として、蔵書や各種資料を活用したグループワークなど熱心に取り組まれました。



旅の図書館オススメの一冊！

最近刊行された図書の中から当館のおすすめをご紹介します！



1 世界の富裕層は旅に何を求めているか
～「体験」が拓くラグジュアリー観光～
山口由美 著 光文社 2024年4月 178頁

ラグジュアリーエコツーリズムとは何か。求められるのは「唯一無二の本物の体験」。南アフリカの「シギータ」、南極大陸の「ホワイト・デザート」などを通じて、これからの日本に求められる富裕層戦略の方向性を語る。

2 「地域おこし協力隊」は何をおこなっているのか？
～移住の理想と現実～
田口太郎 著 星海社 2024年6月 222頁

「地域はその運営のために常に人に関わり、人々の関わり合いが地域性を育てていく」、地域おこし協力隊の受け入れでは、都市と地方の軋轢も生まれるが、制度を活かして本来の目的を達成するための方向性を自らの体験を通じて提言する。

3 命のビザ、杉原リストは語る ～日本を經由したユダヤ難民逃避行～
北出明 著 交通新聞社 2024年7月 295頁

「命のビザ、遥かなる旅路」の続編。ナチス迫害からユダヤ難民を救った杉原千敏の功績は知られるところだが、杉原以外にも尽力した内外の外交官たちに光を当てるとともに、杉原サイバターのその後を紹介する。2139人の「杉原リスト」も詳細を初公開する。

4 テーマパーク産業論 改訂版 アメリカ編
中島恵 著 三恵社 2024年5月 176頁

アメリカに特化したテーマパーク産業論。観光を専攻する学生や観光業界従事者向けの内容となっている。ディズニーランドとユニバーサル・スタジオは取り上げていないが、テーマパーク自体の充実度合いが理解できる。

5 地域社会の持続可能性を問う
～山陰の暮らしを次世代につなげるために～
藤本晴久 関耕平 毎熊浩一 飯野公央 田中輝美 宮本恭子 佐藤桃子 植木洋 著 今井出版 2024年3月 171頁

「地域のことは地域で決める」、政策策定の主体は地域自身でなければならないという認識のもと、「まちづくり・むらづくり」「ひとづくり」「しごとづくり」という3つの視点からそれぞれの領域を分析し課題を検討する。

6 地域創造型観光
小長谷一之・前田武彦 編 晃洋書房 2024年7月 135頁

あらゆる自治体が身近な観光資源に気づくことにより地域活性化が可能となる「地域創造型観光」の手法が目ざされている。その手法と地域活性化のメカニズムを、初心者にもわかりやすく説明している。

7 ヴィクトリア朝英国の鉄道旅行史
スーザン・メジャー 著 白須清美 訳 原書房 2024年7月 325頁

1830年代に初の周遊列車のポスターが貼られてから、鉄道網の発達とともに様々な一般市民が熱を帯びて列車で出かけた。どんな人たちがどのように、どこへ向かっていったのかを資料をつぶさに紐解いてまとめあげている。

8 鉄道王たちの近現代史
巨人たちが創った「この国のかたち」 増補改訂版
小川裕夫 著 清談社Publico 2024年8月 326頁

鉄道を生業とするリーダーたちが築いたビジネス領域が、どのような経緯で誕生し、そして成長してきたのかを鉄道以外の領域で記している。過去の大プロジェクトの舞台裏を覗ける面でも興味深い。

この地域誌が面白い！
最近購読を始めた雑誌を紹介しませう

地産地消文化情報誌 能登
経塚 幸夫 編集・発行
2024春号 Vol.55

世界一美しい半島へ。
「令和6年能登半島地震」特集。ここから始まる(のと新世紀)

沖縄の路線バス ～おでかけガイドブック～
第3版
室井 昌也 編著 論創社
2024年7月 175頁

沖縄県は路線バスがぐまなく走り、とても便利。主要バスターミナルからのルート表、路線図・マップ、各種観光情報満載。第9回沖縄書店大賞受賞(沖縄部門)。